

日時：10月8日(土)～10日(月) (前日発)

参加：宮本(L記)、嶋原(SL)、以倉、佐々木(記)

10/7(金)PM7時集合、新大阪を嶋原車で出発。東北の山は久しぶり、天候は少し気に掛るが、この季節の紅葉に期待して、長い車移動にさあ出発!

10/8(土) 雨

名神京都東から湖西道路を辿り、敦賀から北陸道に乗りドライバーを交代しながら東北を目指す。山形の胎内まほろばICからはR7・R345・R47・R457・K42と地道を進む。日本海側の前線が太平洋側に移動しているとあって雨模様の為、本日の山歩きを中止にする。K42の地道を探し探し、先ずは栗駒山下のいわかがみ平登山口駐車場へ。レストランや宿泊施設のある広い駐車場だ。団体ツアーバスなども来ているが、あいにくの天候に出足は遅いようだ。我々は、テント場を探し今来た道を引き返す。道から少し離れた金明水遊歩道の駐車場を見つけ、まだ昼過ぎだが本日のテント場としてお世話になる。遊歩道は廃道状態で、道を間違えて来る車はあるようだが、ほとんど誰も来ない。昼食後、一杯飲んでゆっくり昼寝。夕食も、以倉さんに調達してもらった食材をたらふく食し、沈殿の一日となる。



紅葉



栗駒山山頂



紅葉

10/9(日) 曇り時々雨 (栗駒山)

朝5時起床、晴れとはいわないが昨夜とはちがいで、雨は上がっている。朝食後テントを撤収し金明水遊歩道の道駐車場を出発する。いわかがみ平駐車場には、紅葉を求めてたくさんの車とバスが止まっている。栗駒山は、秋田・岩手・宮城の三県にまたがる火山との事、遠い所まで来たものである。紅葉を山一面に見る事が出来るが、雲に邪魔されて山頂は見ることができない。多くは階段道の中央コースを登るようだが、我々は少し回り道の東栗駒コースを辿る事にする。(7:15)発、沢登りの様な道を登るが、雨でできた水たまりに足を取られながら歩く。道の上部は広いナメ滝状の岩道となり、慎重に登り切る。道を少し登ると、尾根道分岐(8:35)になり東栗駒山へと続く。これが体を飛させそうな難コース。強風に抗して、ストックで必死に防風体制で体を支える。程なく、鐘の飾りが目に付くが、風はまだまだ厳しい。東栗駒山頂は、石積みのピークである(8:55-9:00)。風に逆らって尾根道を進むが、油断すると体を持って行かれる。栗駒草原(9:20)は、枯草が強風なびいて広く綺麗な草原である。栗駒山(1626m、10:05-10:10)は、たくさんのハイカーが一服しているがガスで展望が無い為、早々に中央コースを下山する。下山途中は、紅葉の眺めを堪能する。この道は、一般ハイカーや子供の遠足組、ハイヒールの観光客がこぞって登ってくる。どうぞ風に飛ばされ無いう、気を付けてと声掛けて、すれ違う。昼前に駐車場着、たくさんの車で一杯である。ゆっくりして、明日の月山方面(山形県)に向けて

出発する。地道を、約3時間の行程である。途中、地元スーパーに寄って食材を調達し、月山八合目駐車場着(16:00)、ガスで何も見えない。ここも広い駐車場だが、天候不良とあって3~4台の車しかない。テントでゆっくり過ごして明日の天候に期待して(明日は冷え込むらしい)就寝。

10月10日(日)曇り 月山 (記宮本)

羽黒山地域から車で約1時間登って行くと標高1400mの八合目駐車場に到着です。出羽三山の奥ノ院、湯殿山へ至ります。「秘して語らず」の聖地現在をあらわす「羽黒山」

過去をあらわす「月山」未来をあらわす「湯殿山」生まれ変わる出羽三山詣で信仰の山

5時30分起床、10日は、良い天気と紅葉を期待していたが、外は、まっしろなガスの中、地元の方は、昼頃から晴れるとのお話であったがその様子は、まったく無くテント撤収して曇り空の中、早々に身支度を整えて出発する。8合目レストハウス前を通り、分岐右「無量の池」に歩を進め、大小さまざまな池塘、弥陀ヶ原湿原の中、足元に気を付けながら木道の道を進みます。次に、小さな石がごろごろと歩きづらい道を、マーキングに従って石の上を進んでいきます。仏生小屋にて小休止後、出発、オモワシ山を過ぎ、山頂近くになると草原になり、夜中から朝方の冷え込み、登るにつれ霧氷が見え始める、山頂に到着「月山神社」に参拝する。ガスが透ければ標高1984m出羽三山主峰月山からの360°の大パノラマも断念でしたが、予期せぬ出会いが歓声を上げたくなる光景が広がる、ガスで視界が悪いが、10月にはめったに見ない霧氷に出会へ、すばらしさに感動です。山小屋の前で、小休止して、コーヒイーで喉を潤し、霧氷を写真に納め、名残惜しいですが下山です。ゴロゴロ石に岩に滑らないように下ります、帰りは、草紅葉の草原の中小麦畑のように金色に輝く池塘、湿原の景色を楽しみながら、中の宮をグルと周回して駐車場に到着です。駐車場から鳥海山方面が晴れ渡り写真に納め、庄内平野の展望もすばらしいです。明日からの仕事も有り身支度を整えて、温泉は、パスして一路大阪へ、

今回始めて色々と変化にとんだ山行きで感動しました。

嶋原さん、佐々木さん。往復の長時間の運転お疲れ様でした。有難う御座いました。

以倉さん有難う御座いました。新大阪で精算ご解散しました。

起床5時30分—出発7時40分—仏生小屋9時10分—頂上10時30分

下山11時—仏生小屋11時52分—駐車場1時15分

帰り出発1時40分—新大阪駅23時30分



霧氷で花が凍っている



月山山頂



駐車場から鳥海山